



ORCHESTRA HOLDINGS

株式会社Orchestra Holdings

2026年10月9日

**株式会社ヴェスの「SBOM+」国内展開に向けた
アライアンスについての補足説明
~セキュリティ事業の展開について~**

株式会社ヴェスの「SBOM+」国内展開に向けたアライアンス についての補足説明

セキュリティ事業強化に向けた取り組みについて

P.3	P.4	P.5	P.6	P.7
アライアンスの締結	「SBOM+」の製品概要	セキュリティ対策の重要性	ヴェスのセキュリティ事業	今後の成長戦略
3社の専門性を結集	脆弱性管理を一元化	深刻化するサイバー被害	品質検証から領域を拡大	新たな成長領域へ
国内外3社の専門性を結集し、「SBOM+」の国内提供体制を構築	脆弱性の検知から対応・証跡管理までを一元的に支援する製品を紹介	国内で相次ぐサイバーインシデントと継続的な対策の必要性を説明	品質検証の知見を活かした取り組みとサービス領域を紹介	サービス・顧客基盤・提供体制の拡充による今後の展開を説明

品質検証で培った強みと国内外の専門技術を組み合わせ、セキュリティ事業を新たな成長領域として強化

※SBOM（Software Bill of Materials）：ソフトウェアの「部品表」のこと。ソフトウェアは多くのプログラムや部品を組み合わせで作られており、SBOMはそれらの名称やバージョンなどを一覧化したもの。
例えば、使用している部品にセキュリティ上の弱点（脆弱性）が見つかった場合、どの製品に影響があるかを素早く把握し、必要な対策を講じるために活用される。

ソフトウェアの脆弱性対策を支援する「SBOM+」の国内展開で3社提携 ORCHESTRA HOLDINGS

ヴェスの顧客基盤と国内外パートナーのセキュリティ技術・開発力を融合し、企業の製品セキュリティ対策を支援
ソフトウェアの部品表「SBOM」を活用し、脆弱性の検知から対応・管理まで支援する「SBOM+」を国内展開

01

株式会社ヴェス

顧客接点・販売力



20年以上のソフトウェアテスト・検証の歴史



累計13,000件以上の豊富な検証実績



既存販路を活用したリード獲得・販売促進

02

Viettel Cyber Security

高度なセキュリティ技術



ベトナム国防省傘下で、同国最大の通信キャリアであるベトナム軍隊工業通信グループ（Viettel）の傘下に属するサイバーセキュリティ専門企業



脅威インテリジェンス・セキュリティ技術



脆弱性分析・リスク評価の専門知見

03

アートネット株式会社

製品開発・運用支援



SBOM+のシステム開発・技術支援



アプリケーション開発・運用ノウハウ



導入後の技術サポート・保守対応



SBOM+

SBOM（ソフトウェアの部品表）の作成だけでなく、脆弱性への対応・規制対応まで支援

基本的なSBOM管理

SBOM生成・構成情報の可視化



SBOM+：継続的な製品セキュリティ管理

脆弱性リスク評価 → 対応進捗管理 → 証跡・CRA対応支援

ヴェスの顧客基盤・販売力と各社の専門技術を融合し、SBOM+の国内市場への普及・拡大を目指す

※Viettel Cyber Security：世界トップクラスのホワイトハッカーを擁し、国際的なハッキング競技会「Pwn2Own」で2年連続総合優勝を果たすなど、世界有数の技術力を有する。

「SBOM+」について

SBOM（ソフトウェアの部品表）を活用し、脆弱性の発見から対応・管理まで一元的に支援

2026年9月のリリース以降、すでに導入契約の実績があり、大手企業を中心にトライアル導入の検討などの引き合いも拡大

01 多様な形式への対応

ソースコードがなくても解析

ソースコード・バイナリ・コンテナなど、
多様な形式からSBOMを生成・解析

02 脆弱性リスクの優先順位付け

対応すべきリスクを特定

悪用が確認された脆弱性情報（KEV）などを
活用し、対応の優先順位付けを支援

03 対応・証跡の一元管理

発見から対応履歴までを管理

脆弱性の報告受付・影響分析・修正進捗・
証跡を管理し、欧州CRAへの対応も支援

04 柔軟な料金体系

継続利用しやすい設計

1製品あたりのSBOM生成数に制限なし。
フリープランやトライアルも提供

SBOMの作成だけでなく、脆弱性対応・証跡管理の継続的な運用まで支援

開発・品質保証・セキュリティ部門の連携を効率化し、管理負担の軽減を目指す

※欧州CRA（サイバーレジリエンス法）：EUが制定した、デジタル製品のサイバーセキュリティ確保を義務付ける法律。製品の設計・開発から販売後まで、脆弱性の管理やセキュリティ対策などを求めるもの。

サイバー攻撃の深刻化で高まるセキュリティ対策需要

国内で大規模な情報漏えい・サービス停止が相次ぎ、サイバーセキュリティ対策は企業の重要な経営課題に



被害の深刻化と対応範囲の拡大を背景に、脆弱性の早期発見・継続管理の重要性が高まる

ヴェスが展開するセキュリティ事業

品質検証で培った知見を活かし、診断・製品セキュリティ・インシデント対応・サプライチェーン対策へ支援領域を拡大

01 脆弱性対策

VULNERABILITY

- 脆弱性診断・ペネトレーションテスト
- 修正・再確認の継続運用
- 製品セキュリティライフサイクル管理

02 製品セキュリティ

PRODUCT SECURITY

- **SBOM生成**・管理
- 脆弱性情報・対応状況の管理
- **SBOM+**による継続管理

03 不正アクセス・対応

INCIDENT RESPONSE

- 認証・アクセス制御の強化
- SOCによる監視・検知
- CSIRT機能強化・訓練

04 サプライチェーン対策

SUPPLY CHAIN

- 取引先・委託先・利用サービス管理
- SCS評価制度への対応支援
- ソフトウェアサプライチェーン管理

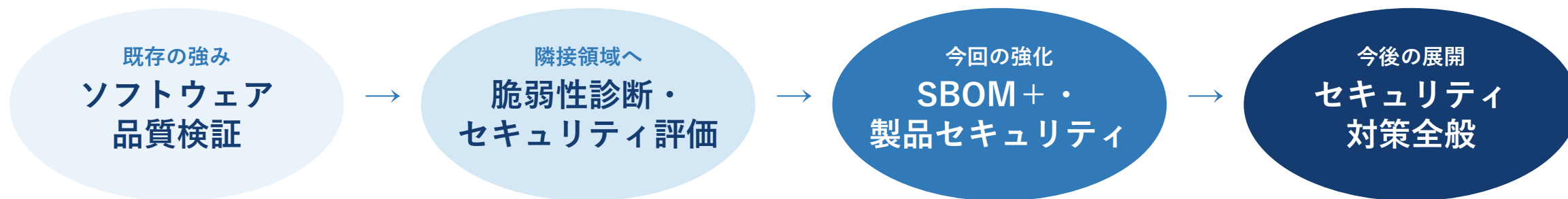
今回のアライアンス

SBOM+を軸に「製品セキュリティ」を強化

品質検証との親和性が高い領域からセキュリティサービスを拡張し、顧客の開発・運用プロセスをより広く支援

セキュリティ事業を新たな成長領域へ

今回の「SBOM+」アライアンスを一つの起点に、サービス・顧客基盤・提供体制を拡充し、事業成長につなげる



01 サービス領域の拡大

SBOM+を起点に、製品セキュリティからサイバーセキュリティ対策全般へ展開

02 既存顧客への展開

品質検証・開発で培った顧客基盤に対し、セキュリティニーズを開拓・クロスセル

03 専門性・提供体制の強化

専門企業とのアライアンスを活用し、技術力とサービスラインアップを拡充

品質検証に続く新たな成長領域として、セキュリティ事業の拡大に注力

Vision

創造の連鎖

－ 事業を通じて創造の志士を輩出し続ける －



ORCHESTRA HOLDINGS

免責事項

将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報はいわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。